

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	国際連合大学事業への拠出		<b>担当部局</b>	大臣官房国際課		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成7年度		<b>担当課室</b>	国際課		国際課長 池原 充洋		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	XIII-2 国際協力の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国際連合大学本部は、国際連合のシンクタンクとして、人類の存続・発展等にかかる世界的な問題についての研究、研修及び知識の普及を行っており、日本は国際連合大学のホスト国として、国際連合大学と我が国の大学、学界等の学術協力を推進する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	グローバルな変化とサステナビリティ、国際協力と開発、平和構築と安全保障といった世界的な問題に関する研究・人材育成事業・知識普及事業等を実施するための経費。 (国際連合大学に対する拠出。)							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	214	200	170	163	160	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	214	200	170	163	160	
		執行額	214	200	170			
	執行率(%)	100	100	100				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	国連大学は、日本及び他国からの拠出金を取りまとめ、人類の存続・発展等にかかる世界的な問題についての研究、研修及び知識の普及を行っており、日本の拠出金による定量的な成果指標を設定することは困難。		成果実績		-	-	-	-
				達成度	%	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国連大学事業への拠出金であるため、活動指標を定量的な数値で示すことになじまない。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
							(-)	(-)
<b>単位当たりコスト</b>	- (円/ )		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	拠出金	163百万円	160百万円					
	計	163百万円	160百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>拠出金については、毎年、国際連合大学から提出される報告書において使途を把握し、拠出金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。引き続き、効率的・効果的な執行を国連大学に対し要請する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、世界的な問題に関する研究・人材育成事業・知識普及事業等を実施するために、国際連合大学へ拠出金を支出するものであり、今回、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図っている。平成24年度概算要求においても、引き続き事業内容を精査の上、コスト縮減等に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>拠出にあたっては、国連大学から提出される事業計画書及び報告書において使途及び適切な執行状況を確認している。当該事業の平成22年度の執行実績を踏まえ、国連大学の事業内容を精査の上拠出額を見直し、概算要求に△3百万円反映した。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

## 国際連合大学事業への拠出

文部科学省  
170百万円

### 【拠出金】

A. 国際連合大学:  
170百万円

グローバルな変化とサステイナビリティ、国際協力と開発、平和構築と安全保障等に関する研究・人材育成事業・知識普及事業等を実施するための経費を拠出

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A. 国際連合大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	日本・国連大学共同研究事業の運営 に必要な経費	170			
計		170	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際連合大学	グローバルな変化とサステナビリティ、国際協力と開発、平和構築と安全保障等に関する研究・人材育成事業・知識普及事業等を実施するための経費を拠出	170-	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					